

令和6年度

すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：0歳児クラス)

モニカ茗荷谷駅前園

Mnica

テーマ

落ち葉

設定理由

『教育の森公園』に行くと落ち場を拾い観察したり、ちぎったりしていた。また、高月齢児は植え込みを覗いて、気になった葉を持ち運ぶ姿も見られた。このような子どもたちの姿から、落ち葉に対する興味を深めていきたいと思った。

対象クラス

0歳児クラス・6名

活動の狙い

落ち葉に触れたり、集めたりする中で不思議さや面白さを感じる

キーワード

「これは何だろう？」

活動期間

令和6年11月～令和6年12月

活動回数

計4回

活動①

令和6年
11月11日～18日の活動

環境構成

『教育の森公園』へ出掛け、探索活動をする中で落ち葉に触れる。高月齢児は収集も楽しめるよう、透明なバケツを用意する。

準備物

透明のバケツ

振り返り

ぎゅっと握る、ちぎる、落とすなどの姿が見られた。
透明なバケツを用意すると気に入った落ち葉を中に入れ、横や下から顔を近づけ観察していた。

落ち葉

26. 11月
もも組
担当/佐藤



まるで絨毯のように落ち葉が敷き詰められた
教育の森公園で過ごしました。

葉を破ったり、踏んだりすると「カカカ」という音が
鳴る事に気が付き、繰り返す姿や、様々な葉の種類
からお気に入りのものを選んでバケツに入れる姿が
見られました。

今後にも思い思いに落ち葉と関わる姿を
見守りたいと思います。



令和6年 11月21日の活動

活動②

環境構成

レジャーシートに落ち葉を敷く。
透明なバケツを用意する。
実施時、探究に集中できるよう0歳児保育室内の玩具や机は片付ける。また、探究する姿を一对一でじっくり見守ることが出来るように、低月齢・高月齢に分けて活動を行う。

準備物

落ち葉 | レジャーシート |
透明なバケツ

振り返り

開始時、初めての環境に驚き、興奮した様子や戸惑い、周囲の様子を観察する姿が見られた。バケツを見つけると気になった葉を中に入れ、下から覗いて観察する姿が見られた。高月齢の子どもたちが探究を15分程行った後に低月齢の子どもたちも参加した。高月齢が落ち葉と全身で関わる姿につられ少しずつ探究し始める姿が見られた。

素足で葉に触れると



反転や遊ぶ様子を
近くで見えています。

R6-11
もも組



バケツが出てきておやく
近大で遊び始め
ました。

高月齢
見ても楽しい



足でババヤ

手でババヤ



室内の葉っぱに
興味津々。

とち葉を身にすると、
葉の形や音を確かめたり、
素足で触れる足の感覚を
感じたりしていました。大胆に
踏み歩いていたり思ったり、抱いて
小さく手でおやくたり、繊細に
葉に触れる時もありました。

活動③

令和6年11月27日の活動

ねらい

拾い集めた落ち葉の感触や音を全身で感じる。

設定理由

前回の子どもたちの姿を踏まえ、普段から使い慣れている囲いを追加し、落ち葉との関わりを深めていきたいと思った。

キーワード

「何だろうね？」 「音がするね」

環境構成

レジャーシートに落ち葉を敷く。
透明なバケツを用意する。
実施時、探究に集中できるよう0歳児保育室内の玩具や机は片付ける。また、探究する姿を一对一でじっくり見守ることが出来るように、低月齢・高月齢に分けて活動を行う。

準備物

落ち葉 | レジャーシート
透明なバケツ

活動③：ドキュメンテーション

振り返り

実施中、職員の出入りがあり子どもの探究が途切れてしまった。また、問い以外の言葉かけや保育者からの働きかけが多くなってしまったので、次回は注意して側に付く。

落ち葉の上を踏み歩いて音を出したり、ハイハイで進んだりする姿が見られた。

落ち葉が敷いてある囲いの中に座ったまま、握ったりちぎったりして観察していた。

子どもの姿をそっと見守ると、表情や眼差し・声にさまざまな思いが表現されていることに気付いた。20分経ち高月齢の子どもが活動に参加せず、飽きたように感じたがその後また落ち葉と関わっていた。大人の物差しで判断するのではなく、ゆったりと子どもの姿を見守りたい。



葉っぱと戯れていると...

落とす
おもしろ

R6.12.
とも組



音や感触も
感じながら



葉っぱの山を
やきやけて

↑
通ったあと



枝を見

落ちる音と音にする
ことに興味を持って
繰り返している



子どもは葉っぱの遊び。
自然の葉っぱに近づいて、おもしろい
ところ、ちぎる、全身を使って葉っぱの音
や感触を味わっていました。
葉っぱに触れていると、中から枝を
おつけて引、張ったり、折ったりしたり、
枝の落ちる音を楽しんで、新しい遊
びをおつけていました。
前回よりも葉っぱの距離感が
少し近く、おもちゃ組のみんが

活動④

令和6年12月3日の活動

ねらい

拾い集めた落ち葉の感触や音を全身で感じる。
色や形の違いに気づく。

設定理由

じっくり探究できる時間設定や静かな環境のもと、落ち葉との関わりを積み重ねたことでより興味を深めていきたいと思った。

キーワード

「入ってみる？」

準備物

落ち葉 | レジャーシート
透明なバケツ | ボールプール
プロジェクター、スクリーン

環境構成

レジャーシートの上に落ち葉を敷く(様々な色の葉を集める)。普段から使い慣れているボールプールの囲いに落ち葉を入れ、活動途中に環境に設置する。透明なバケツを用意する。問いで決めた言葉掛け以外は活動の妨げにならないよう控える。活動から離れた際も、また参加することがあるので子どもの動きを見守る。

もし落ち葉以外の棒などの自然物が混ざっていた場合は、周囲との距離を保ち、座って触れることができるよう配慮する。

実施中、探究の妨げにならないよう職員の出入りに配慮する。

実施時、探究に集中出来る様0歳児保育室内の玩具や机は片付け、環境を設定する。また、探究する姿を一対一でじっくり見守ることが出来るように、低月齢・高月齢に分けて活動を行う。

活動④：ドキュメンテーション

振り返り

回数を重ねたことで、とくに低月齢の子どもが落ち葉への興味を示し探究していた。

落ち葉の上をハイハイしたり、歩いたり全身で感触を感じていた。



葉を感じる

R6.12.3
もも組
担当/佐藤(か)

足で踏む



ちぎる



つまむ



静かな環境で、再び葉に触れましょ。
赤・黄・緑の葉を混ぜると、
指差して気付いた事を周りに伝えたり、
「あか」と発音する姿が見られます。
色の違いや感じることや眼差しや、
表情や言葉、泣く声などが溢れています。
今後も、じっくり関わるという経験を通して
探究心と深めることのできる環境を
つくりたいと思います。

テーマ：落ち葉

全体の振り返り

令和7年1月30日（木）、2月5日（水）2回に分けてプロジェクターを使い職員に共有し、質疑応答を行った。

Q.活動をしたことで、その後の子どもの姿は変わりましたか？

A.散歩先で落ち葉を探したり、見立て遊びを楽しむことが増えた。また、家庭で散歩に出かけた際も、落ち葉に注目したり、保護者に落ち葉があることを知らせたりする姿を伝えられたこともあった。活動は終わったが、子どもたちの中で探究は続いているのだと感じた。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋2-12-16 明和ビル7階
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ茗荷谷駅前園

〒112-0002
東京都文京区小石川5-3-2 エイト印刷ビル2階
TEL:03-5615-8798
FAX:03-5615-8799